

「最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出額19ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.7.15

2020年5月の機械輸出額は2兆4,252億円、対前年同月比34.3%減と、19ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①5地域向けで前年同月比減少したこと、②21業種すべてが前年同月比減少したことなどによる。為替・営業日要因が7.3%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は29.1%減となった。7月7日発表の貿易統計速報によれば2020年6月上中旬の全商品輸出は25.2%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:4兆1,856億円(前年同月比 [以下同じ] 28.3%減、18ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:5兆238億円(26.2%減、13ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:8,382億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:2兆4,252億円(34.3%減、19ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的な伸び率:29.1%減(4ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:1兆7,158億円(23.5%減、8ヶ月連続減少)

(2) 為替・営業日動向

2020年5月に7.3%の減少要因、6月に9.2%の増加要因、7月に4.9%の増加要因。
(7月の為替要因は7月9日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:58.9%減、10ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:4.5%減、3ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:32.6%減、17ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU27向け:40.4%減、8ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:6.1%増、2ヶ月連続増加(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:53.5%減、4ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種すべての業種が減少

(5) 機種別動向(図表12、13)

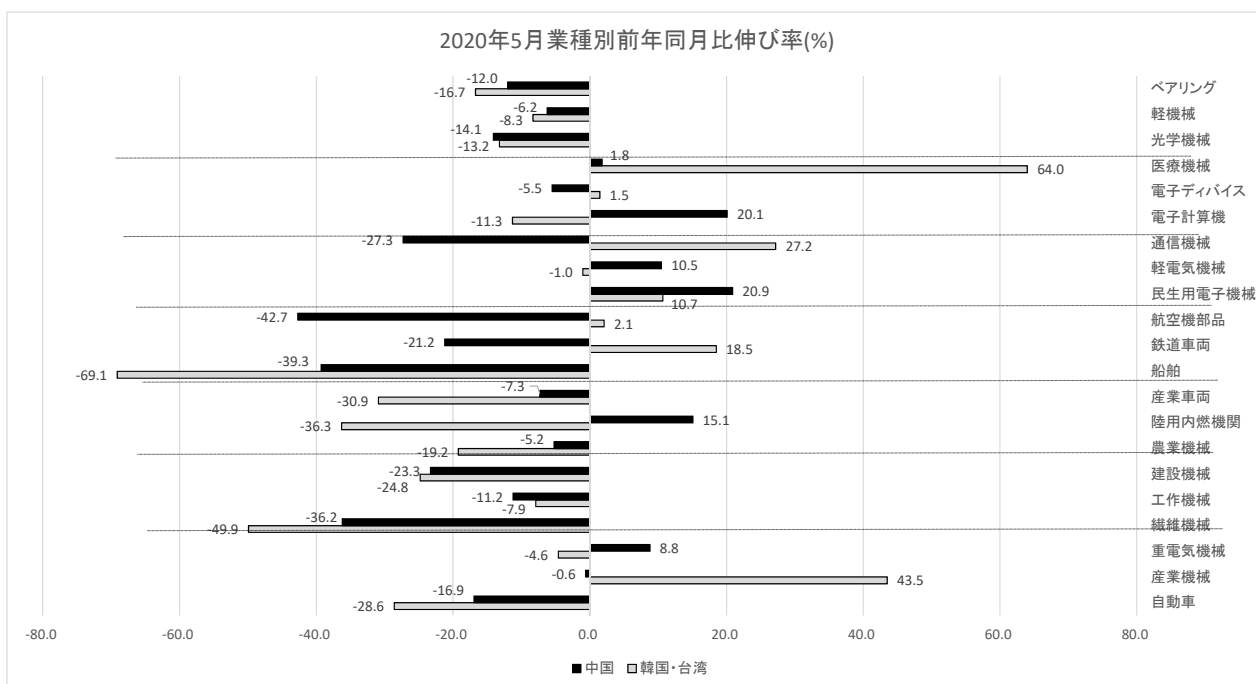
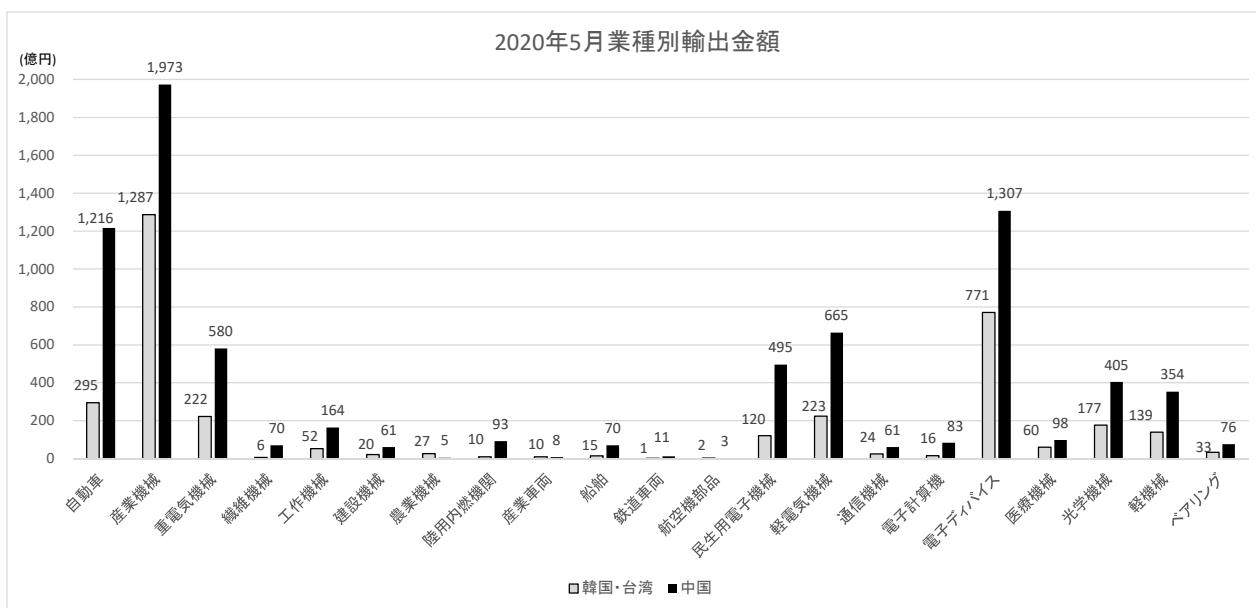
- ① 半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心)が二桁の伸び
- ② 乗用車、航空機部品、農業機械、貨物自動車、自動車部品等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機のみが増加

Ⅱ トピックス

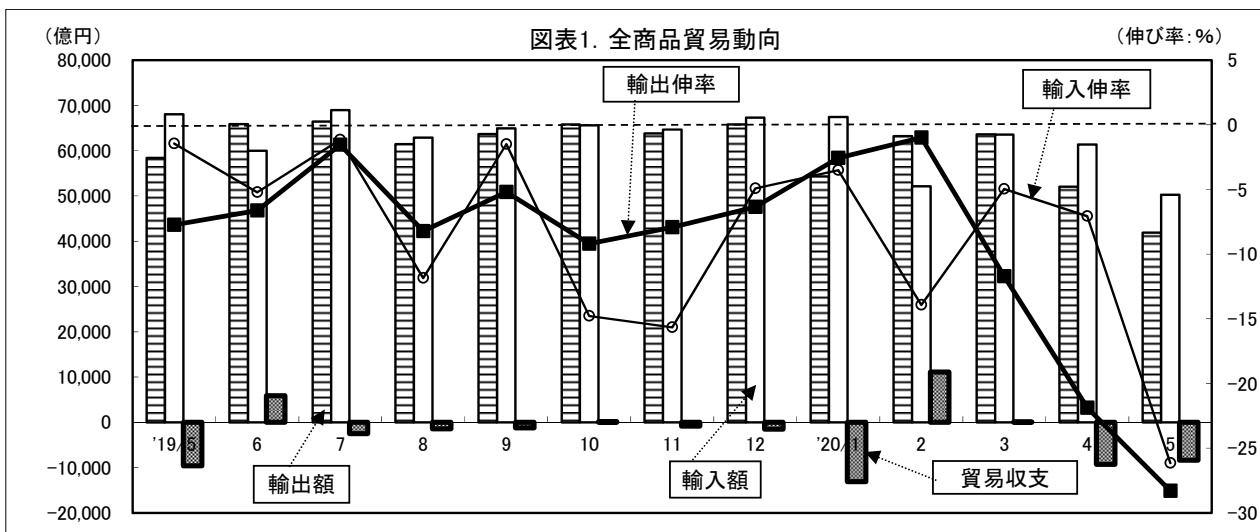
* 2020年5月の中国、韓国・台湾向け業種別輸出金額をみると、半導体製造装置や風水力機械、原動力機械等の産業機械、電子デバイス、コンデンサー等の民生用電子機械の部分品、重電気機械、電気・電子計測器等軽電気機械等において金額が大きく、前年同月比の伸び率でも、増加ないしは低い減少率となっている。中国、韓国・台湾向けについては、製造設備や電子部品等の生産財が輸出を底上げしており、生産活動が回復し始めていると考えられるが、本格的な回復であるかどうかは、今後の状況を見極めていく必要がある。



Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は18ヶ月連続、輸入は13ヶ月連続で減少～

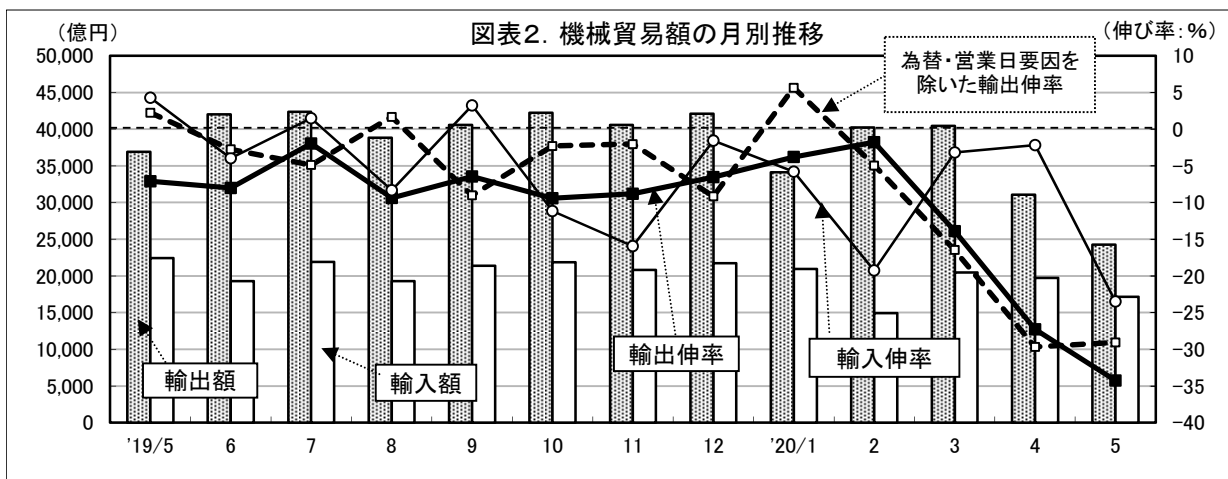
- 2020年5月の全商品輸出額は**4兆1,856億円**、前年同月比(以下同じ)**28.3%減**と18ヶ月連続で減少した(4月21.9%減)。これは、約21%を占める一般機械(23.2%減)、約20%の電気機器(13.7%減)、約15%のプラスチック等化学製品(7.0%減)、約13%の自動車等輸送用機器(60.2%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(23.8%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**5兆238億円**、**26.2%減**と13ヶ月連続で減少した(4月7.1%減)。これは、全輸入額の約17%を占める電気機器(17.2%減)や約13%の医薬品等化学製品(6.1%減)、約12%の原粗油等鉱物性燃料(57.2%減)、原料別製品(3.6%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2ヶ月連続で赤字(8,382億円、4月は9,319億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は19ヶ月連続、輸入8ヶ月連続で減少～

- 全商品輸出額の約58%を占める5月の機械輸出額は**2兆4,252億円**、**34.3%減**と19ヶ月連続で減少した(4月27.3%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は29.1%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**1兆7,158億円**、**23.5%減**と8ヶ月連続で減少した(4月2.2%減)。

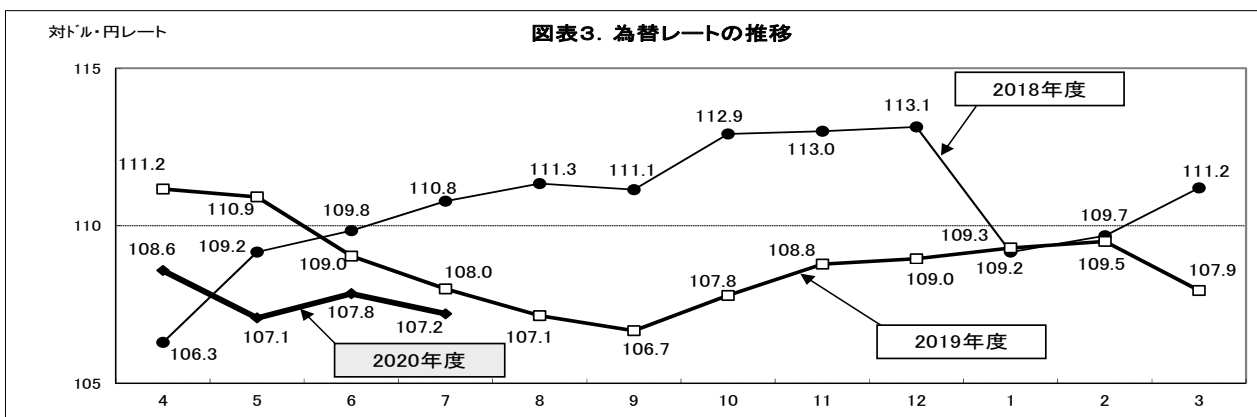


(2) 為替・営業日動向～5月は7.3%の減少要因、6月は9.2%の増加要因～

1) 2020年5月は1ドル=107.1円となり、前年に比べ3.5%の円高となった。また、対ユーロは116.1円と前年に対して6.9%の円高となり、合わせて約2.2%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約5.3%の減少要因となり、合わせて約7.3%の減少要因となる。5月の輸出額は34.3%減であったことから、実質的伸び率は29.1%減と4ヶ月連続で前年同月比減少となった(4月29.7%減)。

2) 2020年6月は1ドル=107.8円で前年比1.1%の円高、対ユーロは119.7円で前年比2.2%の円高となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて2日多いため、約10.0%の増加要因となり、合計で約9.2%の増加要因となる。

3) 2020年7月は、対ドルが7月14日17:00時点の107.2円とすれば、前年比0.7%の円高、また、対ユーロは121.5円で0.2%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約4.9%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少～

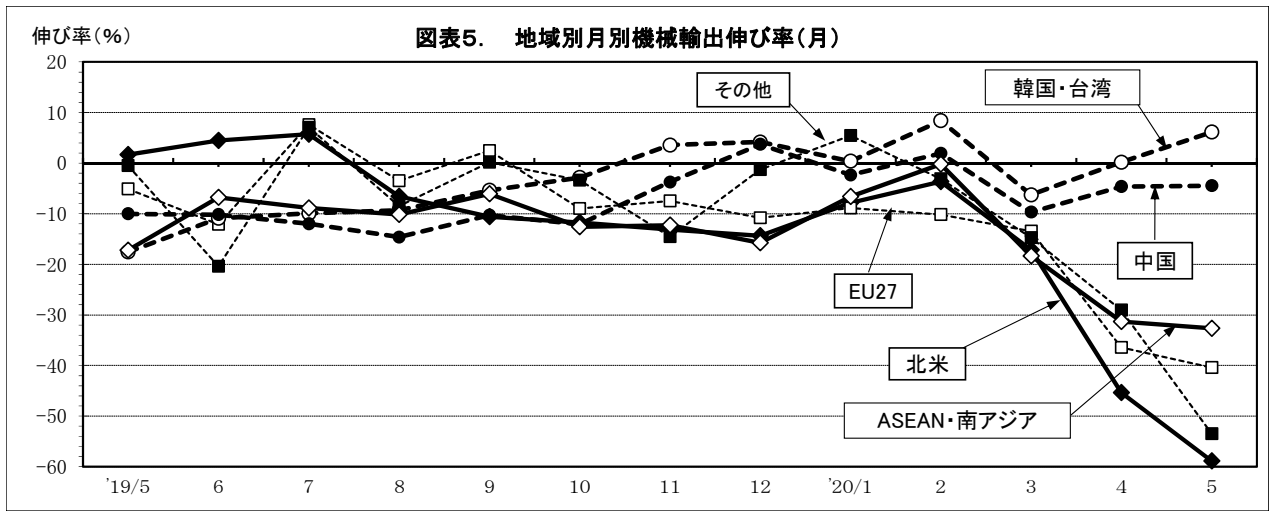
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の16.3%を占める北米向けでは、28%を占める自動車(76.5%減)をはじめ、産業機械(26.5%減)、建設機械(44.4%減)、電池等軽電気機械(48.2%減)等が大きく減少し、58.9%減となった。②32.6%を占める中国向けでは、電気・電子計測器等軽電気機械(10.5%増)、重電気機械(8.8%増)等が増加したものの、25%を占める産業機械(0.6%減)が微減となった他、17%の電子デバイス(5.5%減)、15%の自動車(16.9%減)等が減少して4.5%減となり、③14.0%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(53.8%減)、フィリピン(45.2%減)、タイ(32.4%減)、インド(54.0%減)等主要国向けがすべて二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(17.9%増)が増加したものの、自動車(65.2%減)をはじめ、産業機械(27.9%減)、重電気機械(25.7%減)、軽電気機械(25.5%減)等が大きく減少して32.6%減となった。④9.7%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、軽電気機械(6.4%増)が増加したものの、25%を占める自動車(56.7%減)をはじめ、産業機械(25.5%減)、理化学用機器等軽機械(30.6%減)等が減少して40.4%の減少となり、⑤14.8%を占める韓国・台湾向けは、自動車(28.6%減)が大きく減少したものの、産業機械(43.5%増)、電子デバイス(1.5%増)等が増加して6.1%増となった。⑥11.4%のその他地域向けでは、中南米(59.5%減)、中近東(57.0%減)、大洋州(46.9%減)、ロシア東欧等(36.8%減)、アフリカ(56.2%減)向けがいずれも大きく減少し、業種でも自動車(63.8%減)、船舶(43.3%減)、産業機械(29.3%減)等が大きく減少して54.0%の減少となった。⑦なお、EU向けの軽電気機械が増加したのは、電気自動車のエンジンやセンサー等に使用される永久磁石(25倍)が大きく伸びたためである。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/3			2020/4			2020/5		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	40,441	▲ 13.9	100.0	31,054	▲ 27.3	100.0	24,252	▲ 34.3	100.0
北米	9,758	▲ 17.1	24.1	6,410	▲ 45.4	20.6	3,952	▲ 58.9	16.3
中国	8,672	▲ 9.7	21.4	8,423	▲ 4.6	27.1	7,915	▲ 4.5	32.6
ASEAN・南アジア	5,746	▲ 18.4	14.2	4,419	▲ 31.3	14.2	3,395	▲ 32.6	14.0
EU (英国を除くEU27)	4,479	▲ 13.4	11.1	3,067	▲ 36.4	9.9	2,346	▲ 40.4	9.7
英国	701	▲ 16.4	1.7	458	▲ 45.2	1.5	305	▲ 58.0	1.3
韓国・台湾	4,426	▲ 6.3	10.9	3,928	0.2	12.6	3,582	6.1	14.8
その他	6,660	▲ 14.7	16.5	4,349	▲ 29.1	14.0	2,756	▲ 53.5	11.4

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

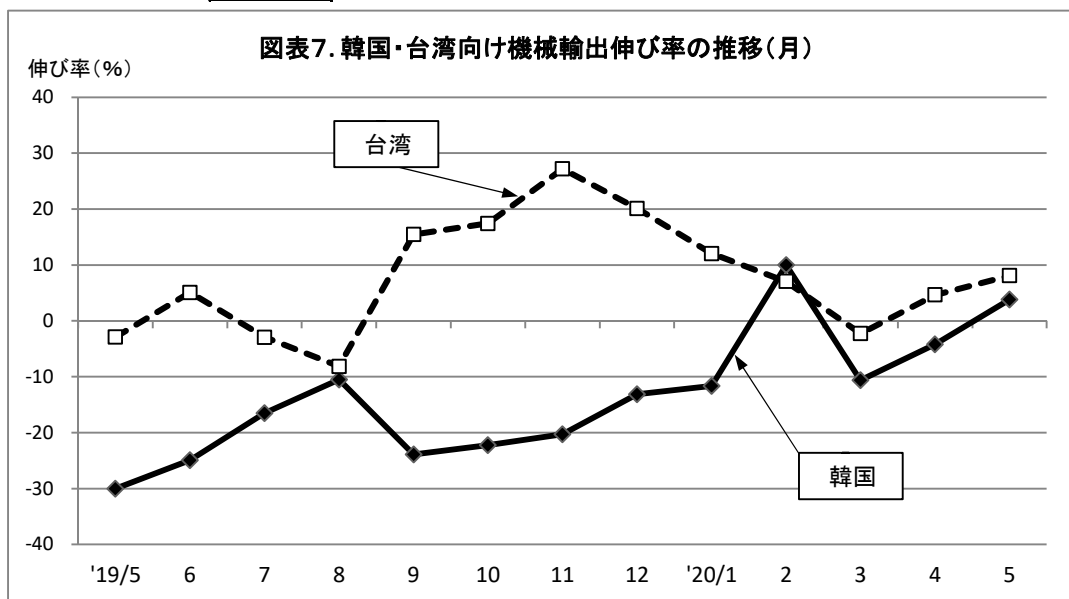


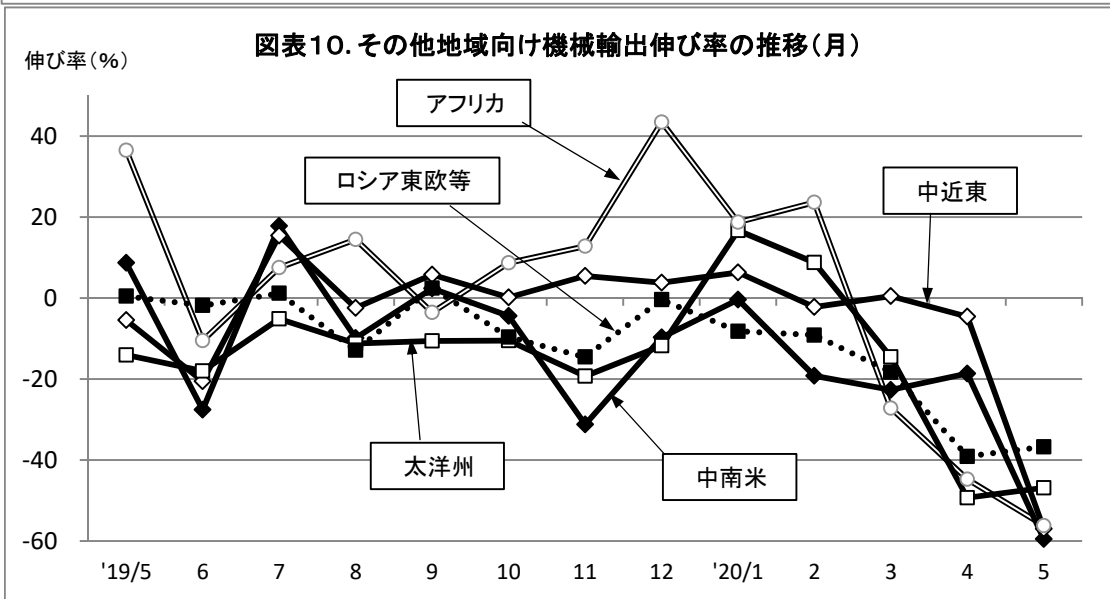
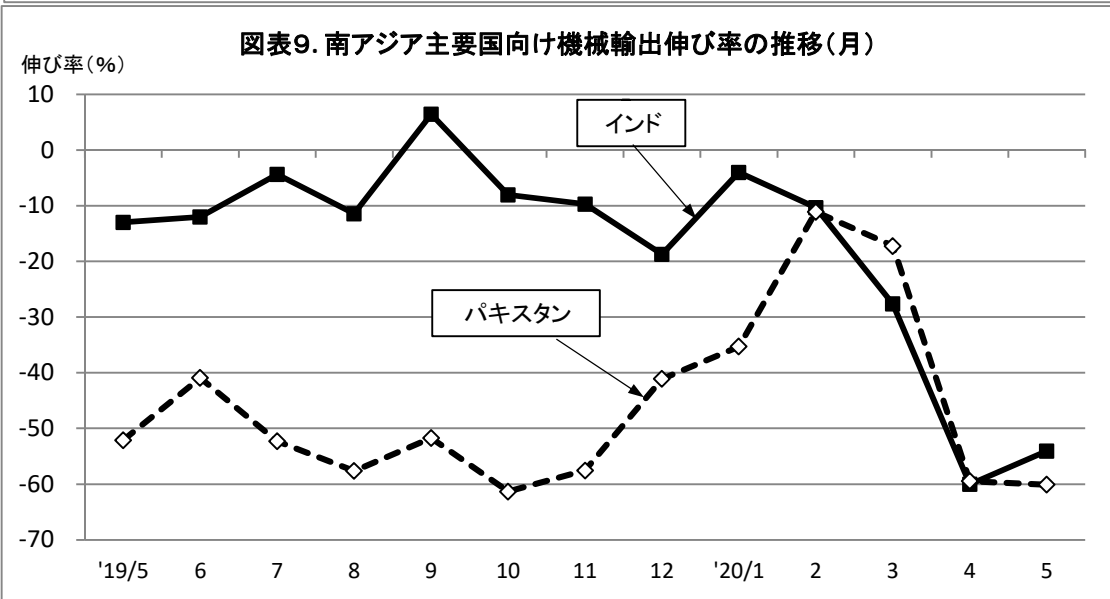
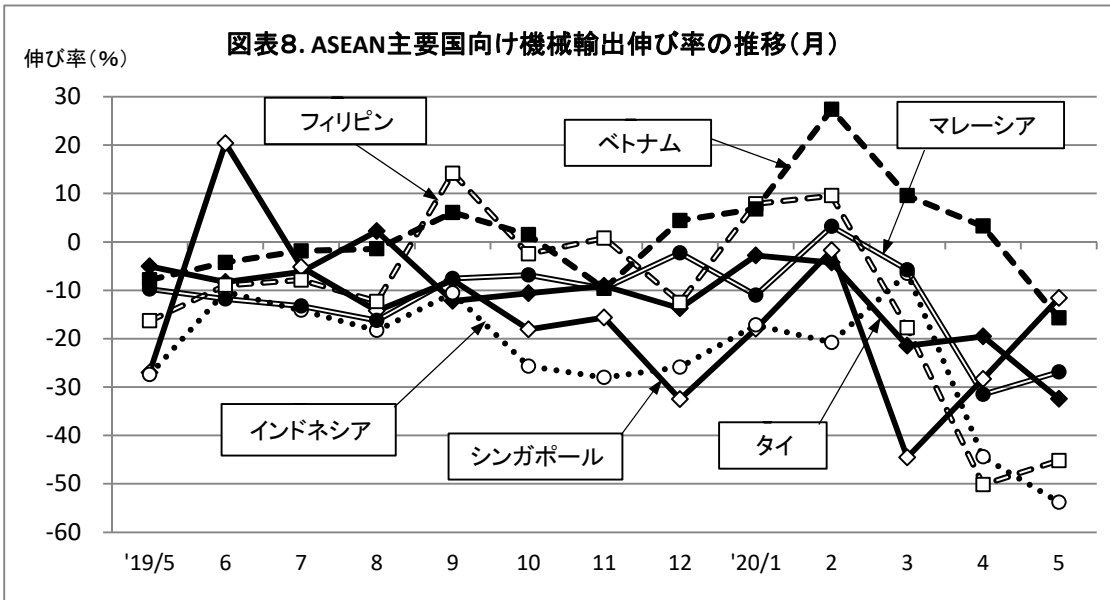
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2020/2		2020/3		2020/4		2020/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,878	10.0	2,023	▲ 10.6	1,893	▲ 4.2	1,604	3.8
台湾	2,194	7.0	2,403	▲ 2.3	2,035	4.7	1,978	8.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,522	▲ 4.3	1,398	▲ 21.5	1,275	▲ 19.6	950	▲ 32.4
シンガポール	886	▲ 1.7	756	▲ 44.5	755	▲ 28.4	647	▲ 11.6
インドネシア	618	▲ 20.8	767	▲ 6.5	511	▲ 44.4	230	▲ 53.8
マレーシア	639	3.2	655	▲ 5.8	488	▲ 31.5	418	▲ 26.9
フィリピン	627	9.5	515	▲ 17.8	316	▲ 50.2	300	▲ 45.2
ベトナム	814	27.4	847	9.5	731	3.3	551	▲ 15.7
インド	497	▲ 10.3	490	▲ 27.7	208	▲ 60.0	191	▲ 54.0
パキスタン	65	▲ 11.1	76	▲ 17.2	37	▲ 59.5	33	▲ 60.1
その他地域								
中南米	1,908	▲ 19.2	1,937	▲ 22.7	1,492	▲ 18.7	814	▲ 59.5
中近東	1,568	▲ 2.2	1,911	0.5	1,228	▲ 4.6	558	▲ 57.0
大洋州	1,146	8.8	1,159	▲ 14.5	662	▲ 49.3	539	▲ 46.9
ロシア東欧等	1,185	▲ 9.2	1,140	▲ 18.3	772	▲ 39.1	643	▲ 36.8
アフリカ	738	23.7	614	▲ 27.2	331	▲ 44.7	291	▲ 56.2

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種すべてが前年同月比で減少、うち17業種が二桁の減少。～

- 1)業種別では、21業種すべてにおいて前年同月比減少となった。これは、円高が進んだ2016年8月以来45か月ぶりのことであり、機械全体では34.3%の減少となった。
- 2)前年同月比で二桁の減少となったのは、自動車(61.3%減)、軽電気機械(18.0%減)等17業種であり、一桁以下の減少にとどまったのは、産業機械(9.0%減)、電子デバイス(1.9%減)、医療機械(0.6%減)、電子計算機(5.1%減)の4業種であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/3				2020/4				2020/5			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	13,760	▲14.6	34.0	自動車	8,165	▲47.2	26.3	産業機械	5,815	▲9.0	24.0
産業機械	7,699	▲13.1	19.0	産業機械	6,347	▲17.9	20.4	自動車	5,006	▲61.3	20.6
電子デバイス	3,359	▲6.2	8.3	電子デバイス	3,319	▲4.2	10.7	電子デバイス	3,009	▲1.9	12.4
軽電気機械	2,578	▲1.4	6.4	軽電気機械	2,110	▲11.1	6.8	軽電気機械	1,713	▲18.0	7.1
重電気機械	2,067	▲9.6	5.1	重電気機械	1,789	▲13.0	5.8	重電気機械	1,465	▲17.4	6.0
軽機械	1,576	▲15.9	3.9	軽機械	1,423	▲19.7	4.6	軽機械	1,064	▲29.0	4.4
船舶	1,364	▲43.8	3.4	民生用電子機械	1,196	▲14.9	3.9	民生用電子機械	1,018	▲14.5	4.2
民生用電子機械	1,354	▲6.5	3.3	船舶	1,177	▲13.3	3.8	船舶	828	▲42.9	3.4
建設機械	1,055	▲33.4	2.6	光学機械	1,005	▲8.7	3.2	光学機械	779	▲20.4	3.2
光学機械	1,051	▲6.0	2.6	建設機械	956	▲31.4	3.1	建設機械	645	▲44.4	2.7
航空機部品	754	▲10.0	1.9	工作機械	481	▲33.5	1.5	工作機械	424	▲39.5	1.7
工作機械	640	▲33.1	1.6	医療機械	406	▲10.3	1.3	医療機械	405	▲0.6	1.7
医療機械	536	▲5.7	1.3	電子計算機	349	▲4.2	1.1	航空機部品	300	▲55.4	1.2
通信機械	429	▲16.4	1.1	ベアリング	349	▲17.4	1.1	電子計算機	291	▲5.1	1.2
陸用内燃機関	391	▲20.5	1.0	通信機械	345	▲24.9	1.1	通信機械	274	▲32.2	1.1
ベアリング	364	▲20.5	0.9	航空機部品	336	▲58.0	1.1	ベアリング	245	▲36.4	1.0
電子計算機	360	▲17.6	0.9	陸用内燃機関	331	▲29.0	1.1	陸用内燃機関	234	▲44.0	1.0
農業機械	225	▲0.4	0.6	農業機械	191	▲12.1	0.6	繊維機械	129	▲30.8	0.5
繊維機械	181	▲13.2	0.4	繊維機械	180	▲6.3	0.6	農業機械	84	▲54.9	0.3
産業車両	122	▲5.9	0.3	産業車両	96	▲13.0	0.3	産業車両	71	▲34.2	0.3
鉄道車両	34	▲60.5	0.1	鉄道車両	49	▲50.7	0.2	鉄道車両	38	▲52.2	0.2
21業種合計	39,900		98.7	21業種合計	30,598		98.5	21業種合計	23,839		98.3

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・**産業機械**:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・**民生用電子機械**:デジカメ、TV、部品 ・**電子計算機**:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・**軽機械**:試験・検査機、理化学用機器
 ・**軽電気機械**:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・**光学機械**:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・**通信機械**:通信機械部品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～半導体製造装置が二桁増加、乗用車、航空機部品、農業機械が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(12.4%増)の1機種のみであった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、乗用車(65.4%減)、航空機部品(55.4%減)、農業機械(54.9%減)、貨物自動車(54.7%減)、自動車部品(54.5%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/3			2020/4			2020/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	588	17.0	携帯電話	23	14.1	半導体製造装置	1,824	12.4
産業用ロボット	173	13.6	機種合計	23	* 0.1%	機種合計	1,824	* 7.5%
機種合計	761	* 1.9%						

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2020/3			2020/4			2020/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	12	▲ 61.9	航空機部品	336	▲ 58.0	乗用車	2,744	▲ 65.4
鉄道車両	34	▲ 60.5	乗用車	4,544	▲ 52.2	航空機部品	300	▲ 55.4
船舶	1,364	▲ 43.8	鉄道車両	49	▲ 50.7	農業機械	84	▲ 54.9
時計	68	▲ 33.5	写真機の部分品・附属品	64	▲ 49.5	貨物自動車	290	▲ 54.7
建設機械	1,055	▲ 33.4	貨物自動車	402	▲ 45.2	自動車部品	1,809	▲ 54.5
工作機械	640	▲ 33.1	デジカメ・ビデオ	153	▲ 43.4	写真機の部分品・附属品	44	▲ 53.2
写真機の部分品・附属品	71	▲ 32.7	自動車部品	2,876	▲ 39.9	鉄道車両	38	▲ 52.2
デジカメ・ビデオ	172	▲ 28.5	時計	54	▲ 37.9	TV	43	▲ 50.4
金属加工機械	253	▲ 24.4	工作機械	481	▲ 33.5	デジカメ・ビデオ	115	▲ 49.1
伝動機	368	▲ 21.3	建設機械	956	▲ 31.4	建設機械	645	▲ 44.4
機種合計	4,037	* 10.0%	機種合計	9,915	* 31.9%	機種合計	6,112	* 25.2%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位 12 機種のうち電子計算機のみが前年同月比で増加～

- 1) 5月の機械輸入伸び率は23.5%減と8ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち電子計算機(14.0%増)のみが前年同月に比べて増加した(4月は9機種)。減少したのは、電子デバイス(2.8%減)、携帯電話(7.3%減)、白物家電(16.2%減)等11機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、白物家電、航空機・部品等、受信変換その他送受信機器、医療機械、配電機器、TV、通信機械部分品、デジカメ・ビデオ、時計の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の45%を占める中国(6.7%減)、ASEAN・南アジア(29.0%減)、韓国・台湾(7.6%減)、EU27(40.7%減)、北米(41.0%減)、その他地域(48.2%減)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2020/3				2020/4				2020/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,205	▲ 0.9	10.8	電子計算機	2,225	5.9	11.3	電子計算機	2,291	14.0	13.4
電子計算機	1,987	▲ 9.6	9.7	電子デバイス	2,156	5.5	10.9	電子デバイス	2,060	▲ 2.8	12.0
携帯電話	1,682	83.6	8.2	携帯電話	1,575	10.8	8.0	携帯電話	977	▲ 7.3	5.7
乗用車	1,179	15.5	5.8	乗用車	1,088	12.3	5.5	白物家電	790	▲ 16.2	4.6
航空機・部品等	1,082	▲ 28.7	5.3	航空機・部品等	1,006	4.6	5.1	乗用車	708	▲ 48.5	4.1
自動車部品	1,008	▲ 10.3	4.9	自動車部品	853	▲ 17.5	4.3	航空機・部品等	680	▲ 64.0	4.0
医療機械	758	▲ 7.9	3.7	白物家電	803	1.0	4.1	受信変換その他送受信	604	▲ 2.4	3.5
白物家電	668	▲ 11.1	3.3	医療機械	682	▲ 4.1	3.5	自動車部品	581	▲ 49.8	3.4
受信変換その他送受信	650	6.9	3.2	受信変換その他送受信	641	20.2	3.2	医療機械	578	▲ 23.2	3.4
配電機器	628	▲ 0.8	3.1	配電機器	505	▲ 13.7	2.6	配電機器	390	▲ 39.5	2.3
コンデンサー等部分品	404	4.1	2.0	コンデンサー等部分品	378	3.5	1.9	その他の配電制御装置	332	▲ 20.8	1.9
その他の配電制御装置	394	1.4	1.9	風水力機械	374	2.9	1.9	コンデンサー等部分品	331	▲ 27.5	1.9
12機種合計	12,645		61.7	12機種合計	12,286		62.3	12機種合計	10,322		60.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等